

うみなり



令和4年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより

令和4年4月18日(月)発行 第2号 文責 藤川 俊彦



令和4年度入学式・始業式のお話から

令和4年度入学式・始業式において
以下のようなお話をしました。



今から約2500年前「論語」という本に、
弟子の一人が先生である孔子に対し「ただ一言で、
一生行ってゆくに値する言葉はありますか?」と尋ねたところ、孔子は「それは**恕(じょ)**だよ」と答え「恕というのは、自分が人からされたくないことは、人にもしてはならないということだ」と付け加えたと書かれています。



論語

恕とは「思いやり」のことです。中学校生活を含めた社会生活で一番大切なのは「思いやり」です。「**自分がされて嫌だったことは他の人に絶対しない。自分がされて嬉しかったことを他の人にたくさんしてあげる**」この法則に従うことで、中学校生活や社会生活の大半は上手く行きます。

恕

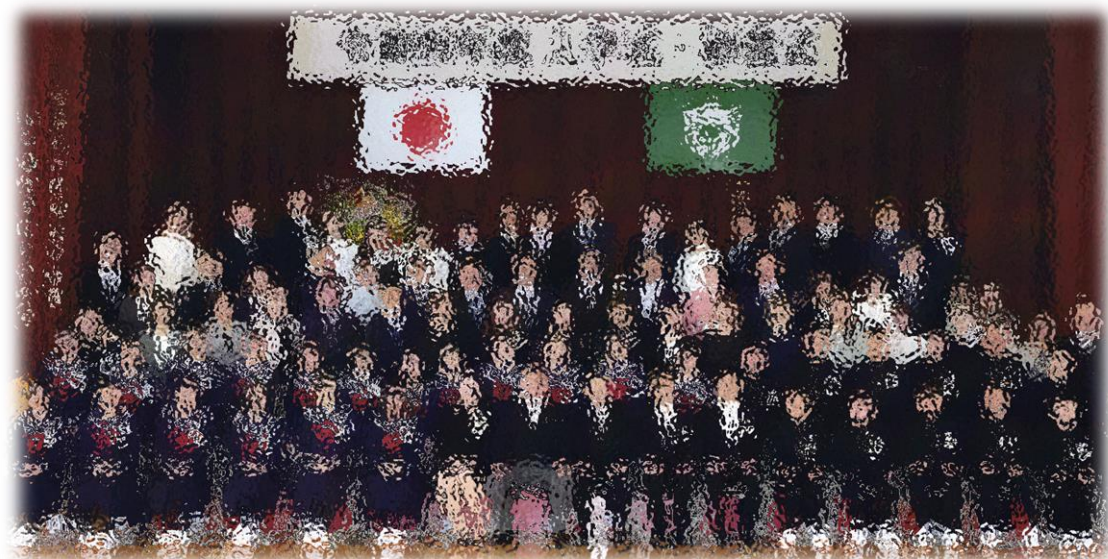


では、思いやりである「恕」を身に付けるためにはどうすれば良いのでしょうか。まずは、「**自分の良い点を見つける**」ことです。自分の良い所を知っている人は、自分に自信があります。自分に自信がある人は物事を肯定的に捉えることができます。また、自信がある人は余裕があるので、自分のことだけでなく他の人にも目が行き届き、優しく思いやりのある行動ができます。中学校は教科の学習の他に、行事や委員会活動、体験学習、部活動と様々な勉強があります。同級生や先輩方との交流もあります。様々なことに積極的に取り組み、自分の良い所を見つけ、どんどん自分の良い面を伸ばしていきましょう。



二つ目は「**たくさん勉強する**」です。「勉強」とは、ただ単に高校に入るためやテストの点数を上げることではありません。昨日までの自分が知らなかったこと、できなかったことを今日の自分は少しでもできるようになろうと努力することです。この努力を続けることは簡単なことではありません。だからこそ、勉強する人はたくましく、優しく、思いやりのある人に育っていきます。みなさんには、この中学校生活で勉強する楽しみを、知らないことを知っていく喜びを経験してほしいと思います。

令和4年度 入学式を挙行いたしました!



4月7日(木)令和4年度入学式を挙行いたしました。

今年度は、3年ぶりに在校生全員を式場に入れ、全校生徒が集って式を行いました。式の中で歌声等制限はありましたが、
新入生の入場時はマスクを外すなど、少しずつ元の状態に戻しております。



今後の行事も、新型コロナウイルス感染症の状況やオミクロン株の特性並びに
村教育委員会(青森県教育委員会)からの感染防止対策を参考にし、
安全・安心に配慮し、できる限り保護者や地域の方々が参加できる
形で公開できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



岡田 PTA 会長より入学式でのあいさつ文を頂きました!

入学式当日、岡田 PTA 会長がお仕事の関係上、ご出席になれませんでしたので、ご祝辞をここに掲載いたします。

令和4年度入学式 ごあいさつ

令和4年度の入学式にあたりまして、PTA
を代表しお祝いを申し上げます。入学式を迎え
られた新入生の皆さん、ご入学おめでとう



ございます。合わせまして、保護者の皆様にも心よりお祝いを
申し上げます。コロナ禍の大変な時期ではありますが、入学式が
執り行われ新入生の門出を祝えたことをうれしく思います。

今年の冬は雪が多く、寒い日が多かったですが、その雪も解
け、ようやく春のにおいがしてきました。新入生の皆さんは、初
めての制服、新しい学校、友達、先生、教科書など新しいものに
対する期待と不安で、とても緊張していることと思いますが、
今日から中学生です。中学生生活は3年間と短いので、
早く慣れて、新たな気持ちでチャレンジしてください。



さて、世界中で2年も流行が続いている新型コロナウイルス
は、既に、私たちの生活に大きな影響を与えています。マスクの
常時着用、運動会や修学旅行などの学校の行事の見直しなど、
何かと不自由な点が多くなっています。早く終息することを
願っていますが、現時点ではいつになるのかわかりません。
また、今年1月からの第6波の感染ピークでは、あらゆる活動が
制限され、クラスターの発生により休校となった学校もありまし
た。私たちは、この2年間、コロナ禍において、一生懸命活動を行
ってきました。学校の行事も、コロナ前と全く同じことはでき
なくても、感染対策をとったうえで、実施できる内容もわかって
きました。残念ながらコロナが終息するまではこの状況が続いま
すから、これからは感染状況に一喜一憂するのではなく、今やれ
ることを精一杯やるのが大切なのではないのでしょうか。

よく、逆境の時こそチャンスといえます。新入生のみなさん、
これから新たな3年間、逆境の今こそ、何事にも一生懸命取り組
んで、これを乗り越え、力強く成長してください。
私たちPTAはいつも、みなさんの健康と成長を
楽しみにしています。そのために、全力でバック
アップしますので、頑張ってください。期待しています。



最後に、新入生の皆さんのご活躍を心より祈念し、私からの
お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

令和4年4月7日 PTA会長 岡田 智博

歓迎の言葉

雪もすっかり消え、見渡す限り
春を感じられる季節となりました。



今日新たな一歩を踏み出す新入生みなさん、
ご入学おめでとうございます。みなさんをこの
良き日に迎えることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。

新しい制服を着て、中学校へ登校したみなさんは、
期待や不安でいっぱいだと思います。

そんなみなさんに、小学校と中学校の違いや、
これから心がけてほしいこととお話しします。

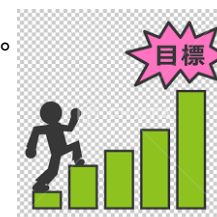


まず小学校と中学校の違いについてです。

一つ目は、授業を担当してくださる先生方についてです。
小学校では、担任の先生が全ての教科を授業してくださって
いたと思います。中学校では、教科ごと先生が授業をして
くださいます。個性あふれる授業ばかりで楽しいです。

二つ目は、学校行事についてです。運動会と文化祭、
この二大行事に共通して小学校と違うことがあります。
それは、『生徒が主体となって作り上げる』ということです。
小学校では、先生方が先頭に立ち、指示をすることが多かった
と思います。しかし中学校では、リーダーが中心となり、
生徒自身の力で作り上げます。運動会では、各組の応援合戦は
もちろん、各競技の準備や進行、運動会全体の運営を行いま
す。文化祭では、合唱やダンス、開・閉会式や展示物の配置な
ど、全てを生徒自身で行います。行事一つ一つを生徒が作り上
げることは、決して簡単なことではありません。しかし、それ
をやり遂げ、成功させることで、中学校でしか味わえない達成
感や、楽しさを実感することができると思います。

次に、中学校生活で心がけてほしいことです。
中学校には三つの努力目標があります。
それは、『学び合う生徒』、『支え合う生徒』、
『鍛え合う生徒』です。



この努力目標を、折に触れて確認しながら、
学校生活に取り組んでください。これから、
日々の勉強や生徒会活動、部活動などが始まり、
慣れないことばかりで大変なことが多くなると思います。
そんな時こそ、互いに支え合い、分からないことは教え合い、
心も体も大きく成長させていってほしいと思います。



最後に、三年間という中学校生活は、みなさんが思っている
より、あっという間です。実りある三年間にしてください。
困った時は、周りの仲間、先生方、そして、私たちに頼ってく
ださい。今日から、新しい環境で、一緒に充実した学校生活、
そして、誇りある一中を共に作っていきましょう。

令和4年4月7日 在校生代表 山田 莉穂

誓いの言葉

今日、私たち29名は、栄えある第一中学校の新入生として
入学しました。今、私たちの心の中は、中学生に
なることができた喜びでいっぱいです。



私たちは、これから三年間、中学生としての
誇りと自覚、そして次の三つの誓いを胸に生活します。

- 一、夢や希望、目標を持ち、それに向かって、
絶えず努力します。
- 一、心身を鍛え、物事を深く考えます。
- 一、自分の言動に責任を持ち、中学生らしい
態度を心掛けます。

今日の入学式には、3年ぶりに上級生の皆さんが集まって
くださったと聞きました。コロナ禍（か）の中でスタートを
切る中学校生活ですが、上級生の皆さんと力を合わせ、できる
ことを精一杯頑張りたいと思っています。先生方、そして、
地域の方々、どうぞ、よろしくお願いします。

令和4年4月7日 新入生代表 澤頭 まひろ

